



ご存知ですか？

八千代市青少年相談員 ～ 子どもたちと歩んだ半世紀～

皆さんは、青少年相談員をご存知ですか。主に小学生を対象としたイベントの企画・運営を行うボランティアで、本市では105人の相談員が活動しています。この特集では、相談員の活動内容や半世紀のあゆみなどを紹介します。

お問い合わせは
青少年課 481-0306へ

青少年相談員とは

青少年相談員は、子どもたちの健全育成を目的としたボランティアです。呼び方は「相談員」ですが、現在は主に、小学生を対象としたイベントを企画・運営し、一緒になって遊んでくれる、子どもたちの良き理解者です。

3年を1期として、県知事と市町村長から委嘱を受け活動しています。現在は18期(25年4月～28年3月)の青少年相談員が活動中で、県内では全市町村に約4,300人の青少年相談員が、地域の特色を生かした青少年健全育成活動を展開しています。

本市では105人が委嘱を受け、「青少年相談員やちよ」の文字が背中に入ったピンクや紫などのカラフルなポロシャツを着て活動しています。

制度発足は昭和38年

青少年相談員制度は、青少年の健全育成を担う組織の必要性や地域ぐるみで青少年を健全に育てることの重要性が増す時代背景の中、昭和38年に全国で初めて千葉県で発足しました。

これまでに、県内で延べ約8万人の青少年相談員が地域に根差した活動を行ってきました。

25年度には制度発足から50年を迎え、県内各地で記念行事やイベントが開催されました。

当初は野球と駅伝が恒例行事 「ちびっこの主張」も

制度発足時、八千代はまだ「町」の時代でした(市制施行は昭和42年)。当時は大勢の子どもたちが集まれる施設もなく、屋外での活動が中心となりました。夏休みに野球大会、冬休みに駅伝大会を開催することが恒例となっていました。

その後、バレーボール、ソフトボール、ミニバスケットボールなどの球技や綱引きといったスポーツ大会のほか、「史跡めぐり」や「ちびっこの主張」といった催しも開催してきました。

他市の相談員とも協力して イベントや研修会などを実施

現在は、夏休みにキャンプ、秋にはジュニアトライアル(レクリエーション大会)を開催しています。各小学校区では、さまざまな団体と協力し、お祭りやバザーなども手掛けています。

このほかにも、葛南地区(市川市、浦安市、習志野市、船橋市、八千代市)の青少年相談員と協力してイベントを開催し、市域を越えた子

楽しみながら活動しています

第18期 八千代市青少年相談員連絡協議会
会長 清宮 均 さん

私たち、八千代市青少年相談員は25年度に発足50年を経過し、現第18期105人で活動しています。主に市内の小学生たちとキャンプやレクなどをして、子どもたちと共に楽しみながら、活動させてもらっています。いろいろと教わることも多く、とても勉強になります。また、八千代市の青少年相談員は女性が圧倒的に多く、皆さんがすごく積極的に動いていただけるので、非常に助かっています。

来年度からの第19期も、子どもたちのために素晴らしい事業ができるように、努力していきたいと思います。

子どもたちの交流の場を設けたり、合同で研修会を開き、青少年相談員としての資質の向上に努めたりしています。

4月からは19期(28年4月～31年3月)がスタート。本市からは110人が青少年相談員として委嘱を受ける予定です。

広告